

1	審議会名	丸子地域協議会
2	日 時	令和5年12月21日(木曜日) 午後1時30分から午後2時20分まで
3	会 場	丸子地域自治センター 4階 講堂
4	出席者	小林勉会長、宮下由紀副会長、阿部勇委員、石合茂委員、伊藤孝二委員 内堀茂委員、金田弘美委員、黒岩慶委員、齋藤由紀子委員、田中幸子委員 中沢誠委員、中山康昭委員、堀内茂一委員、山本幸恵委員、割田栄二委員
5	市側出席者	中村丸子地域自治センター長、春原丸子地域自治センター次長兼地域振興課長 小林丸子地域振興政策幹兼丸子地域教育事務所長、青木丸子市民サービス課長 朝倉丸子地域建設課管理担当係長、杉浦丸子・武石上下水道課長 坂口丸子学校給食センター所長、関丸子消防署長 久保田地域振興課長補佐兼地域政策担当係長、佐藤主査、中島主任、笹木主事 【丸子産業観光課】渡辺課長、朝日課長補佐兼商工観光係長、峯村主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 ・ 記者 2人
8	会議概要作成年月日	令和5年12月25日

## 1 開 会 (センター次長)

## 2 あいさつ (小林会長)

## 3 会議事項 (進行 小林会長)

- (1) 「国民宿舎鹿月荘」と「鹿教湯健康センター (クアハウスかけゆ)」について (丸子産業観光課) 【資料1】
- 資料に沿い、丸子産業観光課長から、「国民宿舎鹿月荘」と「鹿教湯健康センター (クアハウスかけゆ)」について廃止の方針であることを説明。

## &lt; 質疑・応答 &gt;

- (委 員) 施設を令和6年度末で廃止し、鹿教湯全体の魅力向上を図る事業を実施していく方針が示されたが、もう少し広く捉えていただきたい。西内・東内の小学校や保育園の閉校・閉園や、荻窪地籍の道の駅整備事業も考慮し、内村地域全体の魅力向上を図ることも取り入れた方が良い。
- (担当課) 道の駅についても産業観光課で進めている。また、西内小学校や西内保育園の後利用についても、併せて振興を図っていくという方向に考えている。
- (委 員) 共通の課題を抱えている武石地域の「雲溪荘」の動きを知らせていただきたい。また、市の公共施設の利用料についての問題がある。そういった市全体の流れの中における鹿教湯の在り方について示していただきたい。
- (担当課) 雲溪荘も今年度サウンディング型市場調査を行い、廃止の方向と聞いている。
- (委 員) 新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数が減ったと思う。しかし、現在は観光客が増えてきている。【資料1】は令和4年までの推移で、一番悪い状況を示している。判断を5年くらい先延ばして、利用客の増減について検証したらどうか。
- (担当課) 新型コロナウイルス感染症の影響がなかった平成30年に、市が補填した指定管理料(赤字)が両施設合わせ6千万円を超えている。今後、利用者数は回復するだろうが、赤字が解消できるまでの増加は難しいと考えられる。  
また、平成27年の地域協議会から『身近で安価な保養施設』や『健康増進に必要な施設』といった楽観論だけで、多額の公費を長期に渡って支出し続けるような施設運営は許される

ものではない」という意見が出されている。これ以上長引かせることは難しいと判断した。

(委員) 別所温泉などのように、気楽に入れる日帰りの温泉施設を作って観光客を呼び込むことは考えているか。

(担当課) 地元団体「鹿教湯温泉 100 年ブランド創造プロジェクト」とともに、鹿教湯全体の景観向上や、温泉を活用した振興策について協議している。

(委員) 鹿教湯病院を中心とした温泉保養施設の成り立ちがあるが、病院と温泉地を分けて考えて、利用客が楽しみに来てくれる目的を考えると良い。

(委員) 鹿教湯温泉 100 年ブランド創造プロジェクト、鹿教湯温泉観光協会、旅館協同組合から出された意見の詳細を知りたい。

(担当課) 遊歩道整備、電線地中化、温泉を活用した振興策、鹿教湯病院と連携した健康増進などの意見をいただいている。代替りの施設を作るよりも、今ある旅館に集客できるような、鹿教湯全体の魅力向上を望む意見が強かった。

(委員) 平成 27 年度丸子地域協議会との協議結果を受けて、市が廃止の方針を決めたということか。

(担当課) はい。

(委員) それはどのようなプロセスでか。

(担当課) 最終的に市において最終的な判断をしていただきたいというのが平成 27 年度丸子地域協議会の意見。市としても平成 28～令和 5 年度まで、改修・利用料・投資額等を検討してきた。今年度はサウンディング型市場調査を行い、民間事業者で運営できないか検討したが、条件に合致する所はなかった。よって、市としては今年度において方針を決定した。

(委員) 市にとって都合の良い意見にまとまったように感じる。丸子町時代、鹿教湯全体の観光振興、町民の福祉増進を目的にクアハウスと鹿月荘が建設された。経済論だけで廃止するのではなく、スイミングスクールを設ける等どうか。廃止に向けて一直線に進んでいるように見える。利用を増やすための働きかけを図ってきたのか。

(担当課) 最初から廃止する予定では進めていない。改善できる方法はないかと検討してきている。サウンディング型市場調査において、プールの運営等を広く手掛けている S 者とスイミング教室についても検討したが、立地場所が非常に難しいという結論になった。スイミング教室は、プール事業で収益を上げる方法として効果があり、市の施設では「ふれあいさなだ館」も教室を行っている。しかし、スイミング教室のメインターゲットは子ども。夕方に鹿教湯まで親が連れて行くことを考えると「ふれあいさなだ館」のような可能性が見込めない。

また、Y 者からは養護学校等の修学旅行を受け入れる旅館として運営をしたいという提案があった。しかし、実際にシミュレーションした結果、指定管理料として 3 千万円以上の補填をしないと黒字にはできないため、進めることができなかった。

令和 4 年度まで、施設改修や、それに対する投資を検討してきたが、その投資に見合うだけの黒字の予測が立たなかった。そのため、民間のアイデアを求めて、今年度サウンディング型市場調査を行ったが、良い結果が出なかった。

今後の懸念事項への対応として、鹿教湯全体のイメージの問題や健康増進事業の廃止についても影響が少なくなるように関係者・団体と協議して対応を考えていく。

(委員) 雲溪荘は何年度に廃止予定か。

(センター長) 雲溪荘に関しては武石地域協議会の管轄のため、詳しく承知していない。詳しい内容がわかった時点でお伝えしたい。また、鹿月荘は廃止前提では進めていない。運営改善による施設維持を目標に進めてきた。しかし、部屋の大きさが旅客ニーズに合わない、バリアフリーになっていないことに加え、施設そのものが古くなってきている。多額の改

修費用をかけないと存続できない現況を考えると、地域の皆さんとともに違う施策を考えていった方が良いのではないかと結論に至った。

(委員) 鹿教湯の旅館経営者からいろいろな意見が出たと思うが、実家へ泊ることも難しい時代になってきて、親戚が帰省したときに鹿月荘を利用する方も多と思う。私の意見としては、鹿月荘の廃止はいかがなものかと思う。雲溪荘よりも早く廃止になるようなことがないように、もう少し検討を進めていただければありがたい。

(会長) 委員から出たそれぞれの意見も踏まえて進めていただきたい。また、上田市の公共施設の利用料の問題については、行財政改革推進委員会で課題を検討している。

(2) 地域振興事業基金(持ち寄り分)充当事業について(丸子地域振興課) 【資料2】  
・資料に沿い、丸子地域振興課長から、令和6年度充予定事業について説明。

<質疑・応答>  
なし

#### 4 その他

(1) 今後の協議会日程について

第10回 2月8日(木)午後3時30分(予定) 丸子地域自治センター 4階 講堂

第11回 3月14日(木)午後1時30分 丸子ふれあいステーション 3階 会議室

(2) 懇親会(2月8日)の出欠について

#### 5 閉会

【分科会等の開催】	交通分科会	4階 講堂
	福祉・子育て分科会	3階 第3会議室
	文化財・歴史分科会	3階 第4会議室